

感染対策ニュース 令和6年11月第22号

最近よく聞く、マイコプラズマ肺炎とはどんな病気？

今年は、マイコプラズマ肺炎が流行しています。

患者の約80%は14歳以下ですが、大人もかかる病気です。マイコプラズマ肺炎は1年を通じて見られ、秋冬に増加する傾向があります。

感染経路とは？



風邪と同じように、病気になった人の咳や、しぶきを吸い込んだり、手や鼻や口を触わり感染します。

マイコプラズマ肺炎の症状

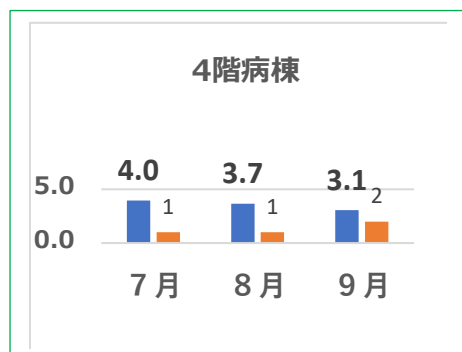


感染対策と対応： 予防は、手洗い・マスクの着用です。

かぜとの違いは鼻水、鼻づまりの症状が少ない、たんのない乾いたせきが特徴です。マイコプラズマが耳に入ると中耳炎、胃腸に入ると嘔吐や下痢を起こすこともあります。初期症状はかぜによく似ていますが、痰がでない咳が長引くときは、かかりつけを受診しましょう。

各病棟の1人の患者様・利用者様の1日の手指衛生の回数

■ 患者1人あたりの手指衛生回数 ■ 石けん払い出し量



各病棟の7月～9月の、1日に患者・利用者様1人に対する手指衛生の回数です。回数が増えた病棟もあれば、徐々に回数が減っている病棟もあります。自分の所属している病棟の状況を確認してみましょう。また、各病棟と比較して見るのもよいでしょう。

現在様々な、感染症が流行しています。**病原体を人に移さない、持ち帰らない、自分が健康であるためにも手指衛生を、必要なタイミングと正しい方法で行いましょう。目標は20回です**

